

東京電力パワーグリッド株式会社

千葉総支社 防災グループマネージャー 栗畑 昌仁

東京電力パワーグリッド(株) 千葉総支社防災グループの栗畑です。



本年2月25日に千葉市さまと「災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定」並びに具体的な役割や実施事項を定めた覚書を千葉市さまと協議を重ね締結させていただきました。

協定・覚書を締結することにより、昨年の台風15号のような大規模な災害が発生した場合に、千葉市さまとこれまで以上の連携が可能になったと考えております。

覚書のひとつであります「停電復旧作業および啓開作業に伴う障害物等除去に関する覚書」は、弊社が停電復旧作業を行う際に、支障となる樹木などの障害物の除去を、千葉市さまへお願いしたり、また、千葉市さまが管理する道路上での障害物を弊社で除去するなど、お互いに協力して、速やかに連携することで、早期に道路の通行が可能になり停電復旧が円滑に進むことと思っております。

これを確実に実施する為に必要なのが、千葉市さまを初めとする行政の皆さまとの訓練だと考えます。

8月6日には、実際の災害を模擬した訓練を実施しております。災害時における双方の役割を認識するとともに、訓練の振り返りも行うことで互いに対応スキルが高まりました。事前に千葉市さまから、訓練の内容について様々なご検討をいただき、ご提案をいただいたことで実現できたと思っております。今後も定期的な訓練を計画し、有事に備えたいと思っております。

弊社の取組みとして、昨年の台風15号の教訓から、幾つかの改善を図っており代表的なところをご紹介します。

大規模な停電が予想される場合は、被害想定に基づき、必要な対応要員を弊社ならびに関係会社より事前に配置することや、被害状況や復旧工程管理等を現場に出ている対応者を含め社内全体でタイムリーに共有できるツールの開発をいたしました。これにより、大規模停電が発生し、かつ土砂崩れ等により復旧が長期化する場合は、弊社ホームページにて復旧見通しの情報や復旧作業の進捗状況について、市民の皆さまがご確認いただけるようになります。

また、市民の皆さまが弊社設備の被害状況等をご確認いただけるツールとして、ホームページ・LINEでのお問い合わせを開発いたしました。

市民の皆さまからの情報提供と千葉市さまとの連携で、より早い停電復旧に努めてまいりますので、ご協力よろしく願います。

東日本電信電話株式会社

取締役 千葉事業部長 境 麻千子

千葉市民の皆さん、こんにちは。NTT東日本千葉事業部長の境と申します。

災害時の対応と、ぜひ皆様を知っておいていただきたいことについて、お話をしていきたいと思えます。

令和元年の台風、大雨災害においては、ここ千葉市でも大きな被害が出ました。

長期・広範囲の停電に加え、弊社及びNTTグループ各社がご提供する通信サービスがご利用いただけられないというような状況になりまして、市民の皆さんが大変な思いをされました。ここで、改めてお詫び申し上げます。

今年も長引く梅雨、そして大雨が県内、全国各地で発生し、多くの方が被害にあわれています。そのような中、千葉市とNTT東日本は、令和2年8月6日に「災害時における通信設備復旧の連携等に関する基本協定」を締結させていただきました。

昨年の台風では、多くの木が倒れ、通信復旧の大きな妨げとなりました。この協定では、倒木処理などの作業を連携して行うこと、障害物等の除去を相互の協力のもと実施すること、災害時には千葉市へ社員を派遣し、被害などの情報連携を強化することなどを盛り込みました。地域の通信サービスを早期に復旧し、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

なお、昨年2月には千葉市とNTTグループで、新たな電力の共同検討に関する協定も締結しておりましたので、令和元年の台風のときには、NTT東日本の所有する電気自動車を、市内の停電地域に派遣し、公民館、児童施設、高齢者施設、そして停電した避難所で明かりを灯し、扇風機を回し、携帯電話の充電など身の回りのことにご利用いただきました。

酷暑の続くこの時期の災害では、特に小さいお子さん、ご高齢の方々には電気による生活支援が必要です。

さて、ここからはぜひ皆様を知っておいていただきたいこととお話したいと思います。

NTT東日本では、電話を利用した「災害用伝言ダイヤル（171）」、インターネットを利用した「災害用伝言板（web171）」を提供しています。

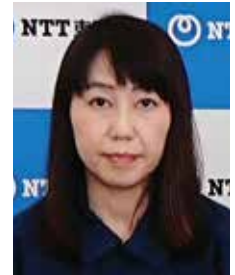
- ㊦あなたの名前は？
- ㊧まいる場所は？
- ㊨れといっしょか？
- ㊩たいところはあるか？
- ㊪こく

「㊦㊧㊨㊩㊪」

災害時の安否情報を確認するサービスとして、毎月1日と15日には体験利用できますので、もしものためにぜひ覚えておいてください。

そしていざというときのために、お近くの公衆電話のある場所、そして使い方をご確認いただき、緊急時や災害時などにご活用ください。

ありがとうございました。



JFEスチール株式会社

事務執行役員 東日本製鉄所長 齊藤 輝弘

JFEスチール東日本製鉄所の齊藤です。

私たちは、2018年10月、千葉市と「災害時における電気自動車及びパワーコンディショナーの使用に関する協定」を締結させていただきました。これは政令指定都市として初となる、電気自動車の活用を目的とした災害時協定です。

この協定は、千葉市において、地震や風水害などにより大規模な災害が発生した際、私どもが所有しております電気自動車やパワーコンディショナーを、緊急時の公務遂行のためにお役立ていただくというものです。

先の東日本大震災の際には、ガソリンスタンドへの燃料供給の停止等によって公用車への燃料供給に支障が出たり、災害対応作業に伴う一時的な需要の増加により公用車が不足したりといった事があったとお聞きしました。万が一このような事態が起こった場合には、製鉄所で所有する電気自動車22台を、ガソリン供給が不足している場合も稼働できる公用車としてお使いいただきます。また、電気自動車は、災害発生時に停電により電力が不足した場合には、「走る蓄電池」として活用することができます。このため、電気自動車の電気を一般家庭用の電気に変換するためのパワーコンディショナー4台も貸与し、避難所や療養・福祉施設での電気供給にお役立ていただきます。

実際、2019年の台風15号の被害により市内で大規模な停電が発生した際に、本協定に基づき、要請があった場合に迅速に対応できるよう準備を進め、台風上陸の翌日には電気自動車とパワーコンディショナーを提供し、停電地区の電源車や被災現場までの移動手段としてご活用いただきました。また、本協定でお約束しているもののほか、弊社の福利厚生施設を、被害にあわれた方や復旧作業に従事する作業員の方の宿泊施設として提供いたしました。

JFEスチール東日本製鉄所は、千葉市に立地する企業市民として、災害発生時に少しでも皆様のお力になれるよう、我々にできることは何か、を考え続け、協力・支援活動に取り組んでまいります。



株式会社ジェイコム千葉

千葉セントラル局 局長 大木 達也

千葉市の皆さま、こんにちは。ジェイコム千葉 千葉セントラル局の局長をしております大木と申します。



弊社ジェイコム千葉セントラル局では、千葉市さまと防災の協定を締結しており、災害があった際は、千葉市さまと連携して防災情報、避難情報や生活支援情報などを、市民の皆さまへ、迅速かつ正確にお伝え出来るよう、日々準備しております。

昨年の令和元年台風、10月25日の大雨災害では、雨や風による倒木や停電、土砂崩れなど市内に甚大な被害がありました。

ジェイコムも昨年の災害の際には、ケーブルテレビのコミュニティチャンネル（地デジ放送の11CH）で、市民の皆さまに230回以上のL字テロップを掲出、情報を発信しました。

また、夕方のニュースでは、避難情報、公共交通機関や停電の情報、生活支援情報を繰り返しお伝えして参りました。

さらに、千葉市さまとは、災害時における地域支援協力に関する協定を結ばさせていただいており、弊社の社用車である「ジェイコムカー」にて、飲料水やブルーシートを各区役所やコミュニティセンター、福祉施設などに、物資の輸送をいたしました。

ジェイコムでは、自宅にて千葉市の防災無線を聞くことが出来る「防災情報サービス」や、災害や地域情報をスマートフォンアプリにてご視聴頂ける「どろーかる」などのサービスも、提供しております。

引き続き、千葉市さまと連携をさせて頂き、市民の皆さまのお役に立てる企業として努めて参りますので、宜しくお願いいたします。